

改憲NO！ 訴え行進

金沢で平和団体など 2021.5.4 中日



改憲反対を訴え、デモ行進する参加者—金沢市広坂で

憲法記念日の三日、県内の平和団体や市民でつくる「憲法改悪NO！市民アクト」が改憲に反対しようと、金沢市内でデモ行進した。

約三百人が戦争NO！と書かれたプラカードや「憲法九条を生かし、世界の平和を」と記された旗を持ち、市中心部の広坂や片町、堅町周辺を歩いた。「平和憲法を守る」となどの掛け声に合わせて、拳を突き上げた。デモに先立ち、金沢歌劇座で集会が開かれ、オンラインでの講演会もあった。講演会では、菅義偉首相が任命拒否した日本学術会議の新会員候補六人の一人で、早稲田大の岡田正則教授(行政法)が「日本国憲法の現状とこれから」をテーマに登壇した。(堀井聡子)

北国 憲法改正巡り訴え

2021.5.4 県内政党・団体 集会や街頭演説

憲法記念日の3日、石川県内の政党・団体は金沢市内で集会や街頭演説を行い、憲法改正を巡ってそれぞれの主張を訴えた。

香林坊アトリ前では、共産党県委員会の佐藤正幸副委員長が「コロナ禍での憲法改正は火事場泥棒と同じだ」と主張した。市民団体「憲法改悪NO！市民アクト」の代表は「改憲は日本国憲法の根幹を揺るがす」と述べ、加憲を唱える同党の立場をアピールした。

市民団体「憲法改悪NO！市民アクト」の代表は「改憲は日本国憲法の根幹を揺るがす」と述べ、加憲を唱える同党の立場をアピールした。

平和憲法維持訴え

早大・岡田教授が講演 金沢で集会



オンラインで講演する岡田正則・早稲田大学教授(右)—金沢市下本多町の金沢歌劇座で

憲法記念日の3日、県内の市民団体「憲法改悪NO！市民アクト」が金沢市内で集会を開き、参加者は平和憲法の維持を訴えた。集会には主催者発表で約300人が集まった。岡田正則・早稲田大学教授(行政法)が「日本国憲法の現状とこれから」をテーマにオンラインで講演した。岡田さんは、日本学術会議の会員候補6人が国から拒否された問題で、任命されなかつたうちの一人。任命拒否により学術会議の独立性が侵害されるなどと訴えて「明らかに違憲であり、違法である」と指摘。その上で「微力ながら日本国憲法、世界に開かれた日本社会のために力を尽くしたい」と述べた。講演後には「憲法理念にもとづく社会の再構築を誓う」などと訴える集会アピールを採択。参加者は改憲に反対する横断幕などを掲げ市中心街をデモ行進した。【井手千夏】